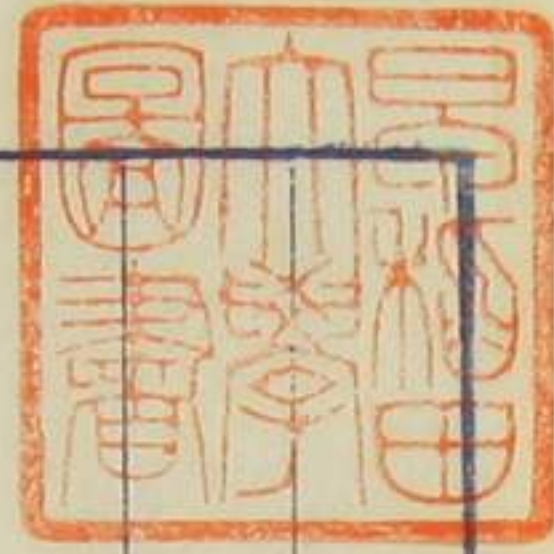




鏡山借區願二付供内覧 衰願二付



114
A 4058



鎮山借區願ニ付

供内寛哀願書

大正十一年四月
侯爵邸書

石川縣平民

村 彌兵衛

頓首再拜

某公閣下ニ哀願ス抑モ彌兵衛カ鎮山事業ニ志
ヲ起シタルハ今ヨリ二十年前以前ニシテ其當時我
國鑛物採掘事業ニ頗ル危険ニシテ後テ社會ニ信
用ヲ得ル能ハサルナリ彌兵衛儀ハ是等ヲシテ甚モ
憂トセス致々トシテ國益ナラシメテ則リ明治維新
ヨリハ一層鑛物採掘ノ一点ニ苦心シ諸山ニ入り頻
リニ鑛脈ヲ見ニ從事セリ隨テ相投シタル費モ
亦斷トセス元來我石川縣ニ鑛脈ニ乏シカラス會

々々縣士族吉田八百招ナル者上縣能美郡尾山屋
村領山字招ヶ溝。金山谷。ノ兩所ニ鑛脈アルヲ発見
シ同村ト試掘ノ定約ヲ遂ケ支々著手セント欲ス
ルニ無資本者ナレハ採掘ニ從事為ス克ハス爰ニ
至ラタ人等ヨリ彌兵衛ニ之レカ金主タラシ丁ヲ
依頼セリ早速相應シ著手為スモ新山創業ナ
レハ容易ニ出入相合ハス加フルニ発見人等ハ大ニ利
益アルモノト見做シ漫リニ金圓私借ヲ強張シ終ニ
ハ該山ノ原資モ危険ニ陥リ不得止発見人等ト協議
上該山ノ權利ハ彌兵衛吉人ニ移シ借區出頭為ス丁
ニ決セリ然レモ尚発見人等ハ彼是ト苦情ヲナラシ將
来ノ事業ニ相障ルヲ以テ遂ニ発見人ニ譲リ渡スノ
意ヲ定メテ出支シタル金額ヲ以テ連ニ讓與セリ

(以て
金主)

横山隆平より出
主人ノ借出トナリ爰ニ至テ尾山屋村ノ村民ハ大ニ狼狽シ發
見人等ノ慕為ヲ墮隨シ村民惣代及村役人等彌兵
衛方ヘ来リ曰ク発見人等ノ為ノ貴殿カ意外ノ損害
ヲ被ラレ今回鑛業見合セラレタルナラモ貴殿カ見合ト
ナリ發見人等ノニ該山ニ營業アツテハ奈何ニモ当村中ノ義
務相立タス殊ニ發見人等ノミニテハ向何奈何ナル面倒ノ生レ
モ知リス村中ノ利益トモナラサレハ是非共他ノ箇所ニ著手
シ一々鑛業ヲ起サレシトテ望ム若シ之レカ承諾アレハ当村
地内ニアル鑛脈ハ障テ余人ニ讓ル坏トノ約モセス隨テ地代價
金モ大金ヲ要セス若ケ所ニ付金五拾円ト定メ云々ト再三ノ
懇望ニシテ止ス彌兵衛モ志ヲ立テタル當時ナレハ左ノ
如キ契約ヲ結ヒテ再度鑛業試掘ニ著手シタリ

太田篤大久保ノ
三ヶ山ナリ

(是レモカ
マクレ及)

一村彌兵衛一名、借區トスルモ村中ノ内ヨリ三名ノ主業
者トナル者ヲ立ツル事（但三名ヲ主業者ニ立テタルハ該村
ト取結ヒタル定メニ對シ苦情等ヲ斷テテ村中ニ安心ナラシメント意テ
一当村領地ニアル鑛脈ハ余人ニ讓ラサル丁等ノ約ヲ結ヘリ
斯ク彌兵衛カ契約ヲ爲シテ試掘爲スヲ聞知シテ前
發見人吉田八百招等ヨリ村方へ懇望ニハ招ケ溝及金山
谷ノ兩所ニテ他ハ一切彌兵衛ノ物ノ如キ契約トナツテハ營業
上將來ニ望ナク固ヨリ西山ノミニテハ到底營業ト爲ス能ハ
サルハ既ニ村中ノ承了ナレハ枉テ村中ヨリ彌兵衛へ懇願シ
今迄テ所ノ地續キ字大久保ヲ我等ニ讓リ受テ度ト再三再
四申入レタル由ニテ村中ヨリ彌兵衛へ通知セリ因テ彌兵
衛へハ之レヲ承引シテ字大久保ハ彼レニ返セシメ（是ハ明治十
三年二月横山
ノ借區ト彌兵衛ハ大久保ハ代リ矢操谷ヲ得テ爰ニ初メテ彼

是ノ苦情モ絶ヘタリ彌兵衛ハ先以テ西山ノ著手シタルモ
（兩山トハ字ニシカマクシ
大田溝幸ナル哉將來ノ見込モ相立明治十三年一月
廿三日付ヲ以テ三ヶ山ノ借區ヲ御許可トナシリ要スルニ
鑛物採掘事業ハ現今ト異ナリ其當時ニマツテハ利器
モナク其業ニ熟練ナル人ニ乏シク實以テ冒險者ノ外ハ鑛
業ヲ營ム人ナク及令冒險者アルモ金満家ナル者ハ俗ニ山
師ト通視セラルク、（サ厭ヒ顧ル者アラサルナリ政者モ之レカ律
ヲ設ケラシメテ保護アルヨリ漸次鑛物採掘ノ業ニ著シキ
進歩ヲ見ルニ至レリ尚且鑛業者ヲシテ危険ヲ曰フス）モナ
ク是全ク政府保護アレハナリ彌兵衛借區ノ鑛山モ追々隆
興ノ域ニ進歩シ延テ資本増備セラルヲ得ヌ加フニ彌兵
衛モ從來本業ノ酒造モアリ旁々資本増備ニ困難ヲ醸シ悲
カナ地方人ノ鑛業ノ如何ヲ知ラサル時世ナレハ他借セシトス

レハ山師ト視セラシ更ニ之レニ應スルモノナク況ニヤ彌兵衛
ハ鑛業著手ノ初度ヨリ親戚ノ諫モアシト用ヒサレニ付親
戚相離シ忍フヘカラサルノ困難ヲ惹起モタレ丁度々アリ又
際適々代言人岩原孝興ナル者(岩原ハ諷刺言ニ本原ハ諷刺言)来テ曰ク判事
補ニ本某ノ知己ニ談山ノ金主トナラントスル者アリ由貴殿ニ
本某ニ依頼セハ忽チニ老フヘシト再言ヲ聞テ僕侍トナシ
早速ニ本氏ヲ以テ金田借用ノ約ヲ取結ヒヘリニ本判事
神ハ有心故造ノ好策ヲ廻ラシ彌兵衛カ借區ヲ中泉既明
ナル名義ニ変更セリ依テ彌兵衛之レカ告訴ヲ起シ彼レハ
ハ豫審終決シテ有罪ヲ言渡ラ受ケタリ故ニ到底裁判
上設鑛山ヲ彌兵衛ニ返戻ナルモノト覺悟シ不正ノ讓受ケ人
中泉既明ハ疾クモ是レヲ稟知シテ廢坑スルヤ否哉隣
借區人横山隆平等ト謀リ曰ク人名義ニテ字ニシカマクレ

及太田溝(岩底谷)等ヲ借借區出願セリ然ルニ本地
主ヨリ承諾ノ調印セサレハ旨ヲ以テ郡長ヘ申出タルニ
甘隆平ハ之レヲ變ニシ(シカマクレ)及太田溝(ヲ除)岩底
谷ノモ増借區ノ出願ニ及ヒタリ(是ハ明治二十年ハ月中ナリ)勿論岩底
谷ト雖モ本地主ノ承諾ヲ得タルモノニ非ス地主惣代人
ヲ梅ハ山岸三良兵衛在入ノ調印ヲ以セリ不都合極マン
願書モ更ニ差支ナク村吏ハ勿論縣廳ニ於テモ採用ト
ナル彌兵衛ヨリ觀ル時ハ奈何ニモ不正ヲ以テ成立陰
然其筋ノ有難者ノ保護アルヲ必セリ之レヲ以テ之レヲ
鑑レハ通例ノ願意ハ其筋ニ上達セサル不幸ニ際會
シタレハ忌懼ヲ願ヒス某公閣下ニ衰頹シ且明ノ御吟
味ヲ受ケタル外アラサレナリ仰キ願クハ正者ト不正者
トヲ斟酌シテ至當ノ御取扱ヒアラハ後令彌兵衛ハ身

余賦産ヲ抛ツモ聊カ遺憾ノ念ヲ起サス而ルニ今ヤ
彌兵衛カ出願ノ趣ハ本縣ニ於テ却下トナリ不備ニ堪
ハカレ云々アリ如何トナレハ曩ニ廢坑爲スノ文詞ニモ前借
直人等内ニ於テ苦情ヲ相讓レ己ニ其筋ハ告許ニ及ヒ
干今裁判結了ニ至ラス云々煩敷云々ノ明文ヲ以テ廢
坑出願ニタレハ甘彌兵衛ハ原告トナリ該山ノ取戻ノ裁判
中ナレハ廢坑却許可アラカン根ト再モ出願セシモ廢坑却
許可トナリ彌兵衛ノ不幸ハ筆紙ニ尽シ難シ如斯事情
アルモ彌兵衛ノ願意ヲ聽サス却テ他人横山隆平ナリ者
カ不正ノ願旨ヲ容易ク進達セラルハ如何ニモ尚無理
ノ却所置ト信認セリ己ニ業ニ使シ等ハ該山ノ為メニ教
十萬ノ利益ヲ得テ勢力一方ナラス村吏等ハ陰然利スル
所アラテ横山等ノ方ニハ奔走ニ今般ノ如キ不正ノ借區

願スラ進達シタル次第其他不都合ナル点ハ教点
ナレト第一ハ地主ノ無調印之ナリ斯ル不正ノ借區願
ヲ以テ主務者ニ於テ却許可ナルハキ理由ナシトスルモ
縣廳ヨリ進達トナリタレハ萬一却許可ノ却沙汰有
之モ租斗彌兵衛ハ前ニ述ル如ク積年間は陸ノ日ヨリ
大買ヲ投シ正ヲ以テ出願カストモ其村吏ノ力メニ
壓留セラル百事迅速ナラス彌兵衛ノ借區願旨然テ
ノ日教後シタルニ依テ不正ノ陸平^カ借區ヲ却許可
ニナワテハ善ク痛歎セシムルノモ止マラス是迄相投
シタル原資マテ水泡ニ帰シ進退完ルルノ艱難ニ陷リ
彌兵衛ノ借區願ハ尋常普通ノ出願ト異ナリ借區却
許可ニナルトナラサントニ於テハ彌兵衛ノ損害言フ
可ラス殊ニ明治七年九月十六日ヲ以テ主務者ハ前

條ノ情実ヲ請願セシニ彌兵衛ハ請願規則ヲ辨ハ
カレヨリ爰則ニ涉リ却採用ニナラス左ノ如ク鑛山石
課長殿ヨリ却口諭ヲ被リタリ其口諭ニ基キ附
治廿年二月八日付ノ以テ借正願書ヲ調整シテ
長役場ニ與印願ヲ為シタリ(此願書ハ大田博)
日長ニ彌兵衛ヨリ主務者へ奉呈シテ請願ニ對
シ課長殿ノ却下命ニハ鑛山廢坑ニナリタレ以上
ハ政府ノ所有ナレハ回復願ハ南函ヲシテモナリ
依テ更ニ普通ノ借正願ヲ出スヘシトノ訓示
セウシ彌兵衛謹テ上申スルハ本件ノ事情ニ付
到底隣借區人ノ調印ヲ得ル克ハサレ源因ア
リ然レハ如何ナル方法ヲ以テ出願ノ手續ヲ經
テ可然哉ト伺ヒタルニ該課長殿ノ却說明ニハ

若シモ戸長等ノ調印ヲ拒ムキハ其理由ノ記
明書ヲ乞テ請願書ヲ奉呈スヘシト云々拜承シ
直ニ帰縣シ右ノ手續ヲ遵ヒタルニ果シテ理想
ノ如ク隣借區人等ノ云々隔テラシ道ニ普通ノ
願書ヲ奉呈スル能ハス
前發ノ次第ニ由テ本月十三日直接縣廳へ請願書ヲ
奉呈シタリト云々却進達ニナラスシテ多ク十七日付ノ以テ
却下トナリ故ニ請願書ヲ調整シ翌日原籍戸長ノ與
書ヲ請求シ直ニ当地ニ宛テ送セリ(是ハ復報及代人等ノ
信書也)
右事情ノ件ノ為メ本月十八日鑛山石ハ却頭ニ課長殿へ
拜謁シ願書ニ旨願書ヲ附陳シ彌兵衛尋テ隆平ヨリ願書
ハ借區ハ彌兵衛願書ノ送達点暫時却指令却備隊
アラスヤ願書セリ而ルニ該官ノ曰ク事情尤ナリ去リ

ナカラ遊りに留置キ難ク今ヤ横山カ願書ニ對シ縣廳
へ照會申ナリ若相當ノ回答アリハ許可セザルヲ得ス云々
畢竟彌兵衛カ救々請願スル情已願ハ普通ノ願ト即
カ異ナリ前ニ述ク人如ク奸謀達ノ方メニ掠奪セラシクハ
ナリハ明々白々自鳴スルノミナラズ之ハ明ナリ法官ノ確認セ
ラシクハモノナシハ事情ヲ却同案下サレ今三日ヲ経過セ
シテ請願書到達スルハ直ニ主務ノ上司ニ奉呈スルハ尙
志ニ付甚恐篤ノ至ニ堪ヘサレ氏普通ノ願意ハ今已ニ上達
ノ途ヲ失ヒ世何セシ萬止ムヲ得サル場合ナシハ順序ヲ犯ス
長願ヲ却下ニシ伴セリ則下ノ却英断ヲ以テ特別ノ却取扱
被取下度仕テ奉長願候誠懼謹言

又川路加賀國石川郡美川町

字隈町二丁目六番地平氏

明治廿一年一月

村 彌兵衛

